

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 子どもたちの育ちや学びを保障するために

【質問要旨】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市立の小・中学校では3月2日から臨時休校となっており、子どもたちは3月から学年をまたいで5月末までの3ヶ月間、学校での授業を受けられず、家庭学習を続けています。

私立の学校では双方向のオンライン授業を始めているところや地域によっては学校を再開しているところもあり、同じ学年であったとしても通う学校や地域によって教育格差が出てくるのが懸念されます。

また、感染拡大を防止するために療育が必要な障がいのある子どもたちのリハビリなども休止されています。

突然の休校や療育の休止で子どもたちも保護者も戸惑い、休みが長引くことで学習面や生活リズムなどについて不安感を抱いています。

このような非常時であったとしても子どもたちの育ちや学びを保障していくために以下質問をします。

- ① 市立の各小・中学校のホームページやスクールメールでの配信が各校内容も頻度もまちまちでしたが、学校間での情報共有はどのように行っていましたか。
- ② 休校が長引く中、各学校では児童・生徒へどのような働きかけは行ってきましたか。
- ③ 学校再開後、休校中の授業の遅れをどのように取り戻していきますか。
- ④ 学校再開後の学校行事の考え方について教育委員会の見解は。
- ⑤ GIGA スクール構想により1人1台のタブレット端末の配備が決まりましたが今後のオンライン授業について教育委員会の見解は。
- ⑥ 障がいのある子どもたちの療育を中断することに対して心配する保護者の声がありますが、コロナ禍の中で専門職による療育を工夫して行ったケースはありますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2020年 5月 25日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

27	26	25	24